

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名	市域内出土収集文化財活用事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人権課	
総合計画体系			根拠法令計画など	文化財保護法	
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value="26"/> 年度
政策(中項目)	1	伝えたい 魅力あふれるまち なんと			終期
(小項目)		文化財			
施策	3	文化財の保護と活用			
基本事業	2	文化財の保護と活用			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何を)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市内で生産使用され、市が収集した民俗資料および市内で発掘された埋蔵文化財出土品														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	市内で生産・使用された民俗資料及び埋蔵文化財出土資料について、広く一般に公開し活用していく施設の設置が強く要望されている。市所有の休館物件等を展示・収蔵施設として活用できるかどうか調査し、活用方法を検討する。														
事業計画	26年度に何を計画していたか	①大津町備前島に新学校給食センターが建設されるのに伴い、同地にある市農業センター倉庫に一時保管している文化財資料(民具・出土遺物・文書資料等)の移転作業をおこなう。 ②資料の貸出など活用を進める。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>展示収蔵施設の確保・整備</td> <td>50</td> <td>60</td> <td>70</td> <td>70</td> <td>80</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位	展示収蔵施設の確保・整備	50	60	70	70	80	%
指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位										
展示収蔵施設の確保・整備	50	60	70	70	80	%										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①大津町備前島に新学校給食センターが建設されるのに伴い、同地にある市農業センター倉庫に一時保管している文化財資料(民具・出土遺物・文書資料等)の移転作業をおこなった。移転先は、旧川崎小学校校舎。 ②資料の収集・貸出をおこなった。					
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	出土収集資料の活用(貸出)	○	○	○	○	
	2	資料移転事業の実施		○			
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	展示収蔵施設の確保・整備		50	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)		83.3	—	—	—	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成26年度	当初予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	810	810
		決算額	0	0	0	0	789	789
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(6,878千円/人)	臨時職員(2,023千円/人)		総人件費		総事業費	
0.1		0.0		688		1,477		

事業費推移	年 度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度
	事業費	-	789	-	-	-
	うち一般財源	-	789	-	-	-
	人件費	-	688	-	-	-
	総事業費	-	1,477	-	-	-

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		地域の伝統的な生活の姿を知ることができる文化財資料について存続を図ることができた。
	効率性	B:概ね効率的だった		資料の移転作業は短期間で実施できたが、整理の時間を十分に取ることができなかった。
②成果に対する評価	指標名	展示収蔵施設の確保・整備		資料の収蔵場所を確保することができた。
	目標	60	%	
	実績	50	%	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		資料の移転作業と共に、民具の貸出をおこなって活用に努めた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	収蔵資料の整理を進め、展示に向けた準備をおこなっていく。また、資料の貸出や見学などの活用についても周知を図っていく。さらに、文化財資料の様々な性質に適合した保存環境の整備も検討を進める。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	収蔵資料の整理を進め、展示に向けた準備をおこなっていく。また、資料の貸出や見学などの活用についても周知を図っていく。			
	H28年度	収蔵資料の整理を進め、展示に向けた準備をおこなっていく。また、資料の貸出や見学などの活用についても周知を図っていく。			